

ベストプラクティス企業への訪問・意見交換

長野労働局（局長 三浦栄一郎）は、「過重労働解消キャンペーン」の一環として、11月20日（木）、長時間労働の削減をはじめとする働き方の見直しに向け積極的に取り組む企業（ベストプラクティス企業）への職場訪問を実施しました。

今年度は、災害復旧やインフラ整備など国民生活に直結する仕事も担う建設業から、初めて選定し、対象企業から取組事例について発表を受け、長野県建設部や業界団体などの方々との意見交換等を行いました。

＜対象企業＞

企業名	高木建設株式会社 代表取締役社長 高木亜矢子
所在地	長野市安茂里小市 1-3-31 （026-226-6061）
業種	総合建設業（建築、土木、舗装、古民家再生、新築・リフォーム等）
社員数	89名（うち正社員85名）（男75、女14）（29歳以下約30%）

訪問日	令和7年11月20日（木）
訪問先	① 長野市豊野防災交流センター（長野市豊野町豊野） ② 「豊野地区雨水貯留施設整備工事」現場（同上）
訪問者 （敬称略）	＜長野労働局＞ 局長 三浦 栄一郎 監督課長 古畑 善美 主任監察監督官 松尾 直彦 ＜長野県建設部＞ 技術管理室長 柴草 真也 ＜長野県建設業協会＞ 専務理事 小林 敏昭 ＜長野働き方改革推進支援センター＞ センター長 渡部 裕
面接者 （敬称略）	＜高木建設(株)＞ 代表取締役社長 高木 亜矢子 総務部長 折橋 鉄也 土木部次長 黒岩 達也 同 落合 幸直 現場関係者の皆様

ベストプラクティス選定証の授与



(左：高木社長、右：三浦局長) (会場の豊野防災交流センターにて)

高木建設(株)による取組説明



(自動追尾式測量機の活用シーン)

<取組内容の例>

- ① 工事書類の統一化と教科書(動画付き)の作成
- ② ICT 機器(ドローンやデータ処理ソフト導入等)の活用による測量作業効率化
- ③ 「現場サポーター」によるワークシェア、2人チーム体制での現場管理
- ④ 年休取得促進、女性技術職向け労働環境整備、「クールワーク手当」、健康経営取り組み

<主な効果>

時間外労働削減(一人月間平均 2.7 時間)、年休取得増加(一人年間平均 16 日)
離職率低下(2%)

(詳細は次ページへ)




【取組例】（高木建設(株)による説明資料から抜粋引用）

01.時間外労働削減 ▶ 01-1.削減の手法と結果

1/6 工事書類の統一化とクラウド活用

後ほど実演


Before	After
<ul style="list-style-type: none"> △ 書類作成は個人の経験則に依存 △ 経験が浅い社員は膨大な時間がかかる 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 様式やルールを見直しマニュアルを整備クラウドに集約 ○ 動画を活用した教育実施 <p>新規作成時間が1/10以下に</p>

TAKAGI construction corp. 5

01.時間外労働削減 ▶ 01-1.削減の手法と結果

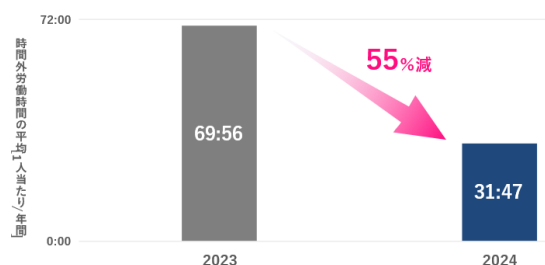
2/6 ICT機器の活用による作業効率化

後ほど実演

Before	After
<ul style="list-style-type: none"> △ 人手による測量と丁張り △ オペレータが目視で掘削 △ 黒板を使った記録撮影と手作業でのデータ整理 	<ul style="list-style-type: none"> ○ ドローン測量で地形を3Dデータ化 ○ GPS重機が半自動掘削 ○ 電子黒板で撮影から整理まで瞬時に完結 <p>測量/掘削/書類作成時間短縮</p>

TAKAGI construction corp. 6

✓ 時間外労働時間の平均 [1人あたり/年間]



✓ 有休取得実績



【取組例】（続き）

▼ 健康経営優良法人

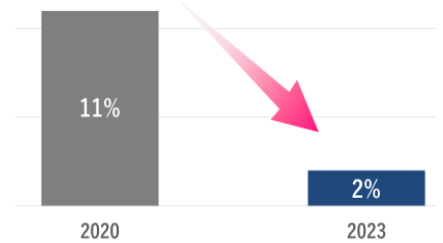
- ・ 9年連続認定
- ・ 全国5位にランクイン
(ブライツ500フィードバックシート)



信州ウォーキング
大賞 2025 チームで健走
健康のリズム



▼ 離職率の改善



【取組にあたって苦労や課題、今後について】

ベテランの 反発

「不要だ」との意見もあったが、ベテランを尊重しつつ若い社員から導入。今ではベテランも「便利だ」と使うようになった。

デジタルの 信憑性

デジタルデータを信用してもらえないことがある。自動運転の高速化や、上物建築工程でのICT導入で課題。

市町村の セキュリティ 制約

市町村との「情報共有システム」は、情報漏洩の観点から利用が進んでいない。

✓ 今後の取組み



AIによる
工事関係書類等作成
(ChatGPT活用)



請求書等伝票処理の
電子化と
様式統一による効率化



最新のDXを
体感しよう！



12月12日[金]

建設DX展(東京)

社員43名参加、バス1台貸切



【三浦局長からの講評】（要旨）

- ・災害時の復旧工事など、国民生活に直結する役割も担っているのが建設業である。
- ・地域で長年にわたり建設事業を営む企業による新たな挑戦となる様々な取組を見せていただいた。
- ・それらの取組が結実していることは他の範になるものであり、業界で広く波及することを期待する。
- ・業界の自助努力に加えて、工事を注文する側の理解も重要。工事期間や見積もりなどに対する配慮をお願いしたい、行政としても協力を続けたい。

【高木社長からの挨拶】（要旨）

- ・ベストプラクティス企業に建設業では初めて選定いただき、大変光栄、関係者に感謝。
- ・建設業では、土曜日出勤や残業は当たり前という時代が長く、「2024 年問題」への取組の浸透には反発もあり、そこに働き手の不足も重なり、労力も時間も掛かった。
- ・すべての社員の働きがい、生きがい、幸福度UPを目指して、社内の風土を作り方に力を入れている。早すぎる時代の流れにめまいがするが取り残されないという気持ちで、ICTやDXから、今度はAI活用！に広げている。
- ・私の「こうしたい！こう進んでいきたい！」に、社員たちが懸命に取り組んでくれ、本日につながった、社員たちは感謝しかない。
- ・建設業が、人々の安全・安心な暮らしを支える魅力ある業界であることを伝えながら、働き方もより良くしてまいりたい。

【ご参考】

（一社）全国建設業協会では、働き方改革や賃金の引き上げ、CCUS など労働施策に関する取組を推進する上で、会員企業の実情を把握し、目指すべき方向性等を探ること等を目的に、「労働環境の整備に関するアンケート」が実施されました。



[令和 7 年度「労働環境の整備に関するアンケート」結果](#)

生産性向上など働き方改革全般のサポートは、
「働き方改革推進支援センター」へ
電話：0120-088-703
ホームページ：[長野働き方改革推進支援センター](#) |
[働き方改革特設サイト](#) | 厚生労働省

中小企業・小規模事業者の皆様へ **無料相談**

厚生労働省 委託事業
長野働き方改革推進支援センター

課題の表面化 → **社会保険労務士が働き方改革をサポート** → **課題解決**

●残業時間を削減したい
●人手不足で困っている
●助成金を活用したいが、使い方がわからない

電話・メール
多岐相談
センターに所属する社会保険労務士が対応します。
電話相談
専門家に相談する。またはオンラインで課題解決をお手伝いいたします。（※初回は無料）
セミナー開催
課題を相談いたします。

●業務効率化！
●生産性向上！
●働きやすさの向上
●ワークライフバランスの実現

こんなお悩みや課題はありませんか？
社会保険労務士等の専門家が **無料** で相談対応等の支援をいたします。

■ 就業規則、育児介護休業法等
■ 各種助成金
■ 就業定等の適正化対応
■ 人材確保、高齢者雇用、リスキリング、キャリアアップなど
■ 働き方改革・同一労働
■ ワークライフバランス
■ 時間外労働の上限規制への対応
■ ハラスメント対策

お気軽にご連絡ください
長野働き方改革推進支援センター（受付時間 平日 9:00～17:00）
電話 0120-088-703
Eメール nagano@workstylereform.net
WEBページ <https://nagano.workstylereform.net>
FAX 026-219-3096

FAX でのお申し込みは、裏面の申込票にご記入の上お送りください。